



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)N3E4プロジェクト	階数	地上3F
建設地	札幌市中央区北3条東4丁目1-10、1-11、1-12、1-13	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	250 人
気候区分	2地域	年間使用時間	2,800 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年10月5日
敷地面積	4,360 m ²	作成者	児玉 俊介
建築面積	2,288 m ²	確認日	2016年10月6日
延床面積	6,898 m ²	確認者	北川 正人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 建物の形状を比較的シンプルにすることによる様々な部分でのロスの削減を意識しています。	A 省エネルギー 全館LED照明の採用	
B 省資源等 定尺を意識した設計	C 緑化 季節感を感じられるような樹種の選定と緑化率を超える緑化の設置	D 雪処理 ロードヒーティングの導入

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される